



主 題

- クラブ (主 題) “Pass it on to the next generation”
 「次代に引き継ぐ」 生地 義治会長
- 国 際 (主 題) “Once More We Stand”
 「心新たに立ち上がろう」 藤井 寛敏(東京江東クラブ)
- ア ジ ア (主 題) “Once More We Stand”
 「心新たに立ち上がろう」 高田 一彦(横浜クラブ)
- 西日本区 (主 題) “Forward with Y's men's spirit in our hearts”
 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」 仁科 保雄(京都キャピタル)
- 中 西 部 (主 題) “Enrich your Y's life with a broader perspective!!”
 「豊かに、そして拮がりのあるワイズライフを!!」 松浦孝次(大阪センテニアル)

聖 句

彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリアは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。ルカによる福音書 第2章6-7節

ワイズ人生 灰谷 隅夫

私がワイズに入会して50年が過ぎた。土佐堀ワイズメンズクラブでも一番古参になった。なぜここまで退会せずにこれたかといふといろいろなよき先輩との出会いが有り、YMCA やワイズメンが好きになったことである。12月はクリスマスの月でイエス・キリストがお生まれになった時である。イエスは33歳まで地上の生活をされ、私たち人類の罪を背負い十字架に架けられ私どもの罪を贖って下さった人である。三日目に蘇えり弟子たちに神の子として現れその聖霊によって生かされているのである。

ワイズメンズクラブでは、12月はEMC-Mの強調月間である。新山 EMC 事業主任はポイントとして「会員同士の親睦を深め、クラブ発展の為の礎を築こう。西日本区2000名に向かって!」といわれている。2010年10月末集計では、89クラブの会員数は9月30日では1671名であるが、10月31日では1682名で11名の増員になっている。土佐堀クラブでも30歳代の人が今年度2名入会された。大変喜ばしいことである。土佐堀クラブでもドロップ会員を出さないために、又、新会員をむかえるにはどうすればいいかクラブとしてよく考える必要がある。来年のクラブ設立60周年までには少なくとも30名のメンバーになりたいと思う。後8名入会すれば30名になる。その目的を達成するにはメンバー一人ひとりがYMCA、ワイズメンを好きになること、好きになるには時間の許す限り積極的にすべてのプログラムに参加して、いろいろの人たちと出会うことである。頑張りましょう。皆様のご健闘を祈る。

12月 例会プログラム

<クリスマス例会>

- 日時：2010年12月11日(土) 14:00~14:45
 会場：土佐堀YMCA会館603号室
 司会：西田卓史メン
 担当：EMC事業委員会(北村委員長、奥田、小森、工藤、西田、灰谷)
- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 生地 義治 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司 会 者 |
| 4. 聖句朗読・
クリスマスメッセージ | 澁谷 弘 祐 メン
岡野 泰 和 メン 代 読 |
| 5. ファンドオークション
* 献品をお願いします。 | |
| 6. YMCA ニュース | 小路 清一 連絡 主 事 |
| 7. インフォメーション | 水口 美 里 書 記 |
| 8. 誕生日・結婚記念日 | 生地 義治 会長 |
| 9. ニコニコ | 司 会 者 |
| 10. YMCA の歌 | — 同 |
| 11. 閉会宣言・点鐘 | 生地 義治 会長 |
- 例会後土佐堀YMCA クリスマスの集いに参加します。

12月の強調テーマ < EMC-M >

会員同士の親睦を深め、クラブ発展の為の礎を築こう。西日本区2000名に向かって!

新山 兼司 EMC事業主任(京都トップスクラブ)

役員会報告

岩田 晋

11月

例会報告

岩田 晋

日 時：2010年11月30日（火）18時30分～20時30分

場 所：奥田事務所

出席者：生地会長、岩田、岩原、岡野、奥田、工藤、小森、小路、只野、牧口

報告事項

- 11月例会 [11月16日（火）大阪YMCA902号室]
出席者：メンバー16名、メネット3名、ビジタ2名（なかのしまクラブ大岸氏、生雲氏）、ゲスト1名（河合修身氏）合計22名、メキャップ1名（道関）、出席率：17/21＝81.0%、ニコニコ：9,250円、ファンド：3,500円
担当：広報事業委員（道関委員長、岩田、福永）
内容：ゲストスピーチとマジック指導：「夢と不思議を貴方と共に」マジシャン サミー河合氏のマジックと話
- とさぼりカーニバル [11月3日（水・祝）]
参加者：生地、岩田、奥田、北村、工藤、小森、小路、只野、灰谷、福永、只野コメット、牧口、牧口メネット
- チャリティラン [11月23日（火）]
参加者：生地、岩田、奥田、北村、工藤、小森、小路、只野、福永、道関
- 次期会長選出について
引き続き協議することとする。
- 次期中西部事業主査の推薦
岡野泰和メンをファンド事業主査に推薦する。
- チャリティ・ロビーコンサートの報告
- YYフォーラム[1月29日（土）YMCA会館]

協議事項

- 12月クラブ例会 [12月11日（土）14:00～14:45 大阪YMCA6階603号室]（EMC事業委員会、北村委員長、奥田、小森、工藤、西田、灰谷）
プログラム：A. 次期クラブ会長選挙
B. 「とさぼりファミリークリスマスのつどい」に参加。
- 1月例会について [1月18日（火）18:30～20:20]
強調月間：IBC・DBC
例会テーマ：新年放談
担当：交流事業委員
- 例会のゲストスピーカーの確定
2月は川阪京子さん、6月は丸谷一耕さん
- 次々期国際会長選挙の投票
協議の結果ヘチアラッチ（スリランカ）候補に投票する。
- ロールバックマラリアへの支援要請
1セット：800円、締切り：2011.2.15
- 中西部合同新年会参加者再確認
- 60周年記念事業委員会
内容について協議した。

インフォメーション

- ・12月7日（火）18:30 60周年実行委員会（奥田事務所）
- ・12月14日（火）18:30 第2例会・役員会（奥田事務所）
- ・12月14日（火）18:30 ブリテン委員会（奥田事務所）
（年末多忙のため変更、ブリテン原稿等注意のこと）

ロビーコンサート、とさぼりカーニバルなど、多彩な行事が一段落して、少し落ち着きを取り戻してきた11月半ばの16日、いつものYMCA902号室で11月例会が開かれました。ゲストスピーカーには、かつて土佐堀ワイズのメンバーであった河合修身氏を迎え、なかのしまクラブの生雲文枝会長と中西部交流主査の大岸弘子メン（なかのしまクラブ）の参加もあり、大変に楽しい例会になりました。

河合氏は、今や日本を代表するマジシャンであり、サミー河合として、日本国内は勿論、海外でも東奔西走の大変お忙しいなか、土佐堀クラブのために時間を割いて頂けたのは「感謝」のひとつに尽きます。定例の順序で例会が進められ、いよいよ河合氏のマジックが始まりましたが、まずは、その話術の巧みなことに驚かされました。マジックを進めるに当たり、なかのしまクラブの生雲会長がホスト役？をされましたが、河合氏との軽妙洒落な掛け合いに全員が爆笑。続いて新メンバーの岩原メンがマジックの実践にチャレンジ。人前でマジックをするのは初めてとはいえ、これまた、堂々としたものでした。この日まで、マジックとは「見るもの」だとばかり思っていたのですが、河合氏の「マジシャンと観客の双方のコミュニケーションである」というお話には目からウロコが落ちる思いでした。マジックの興奮冷めやらぬ中、なかのしまクラブのチャリティコンサートへの誘いがあり、また、坂本メネットから、土佐堀メネット会のバナーに関する秘話も披露され、胸が熱くなりました。トスファンドでは我らが畑で収穫された、大きな鳴門金時の山が主役になりましたが、さて、お味の方は？ニコニコは9,250円、トスファンドは3,500円でした。また、坂本メン・メネットから綺麗な花の記念切手を沢山寄付頂いたことを報告しておきます。



サミーさんのマジックショーの一コマ



11月お誕生日のみなさん

IBC & International

<アンニョン KOREA>

岩田 晋

シリーズ 韓国の石に見る日本 ④

ソウルの大洪水記念碑

ソウルのカンナム(江南)に珍しい洪水記念碑があります。前月号で紹介した、東洋拓殖会社の「水神の碑」が建てられた三ヶ月後の7月、韓国の中中部・江原道地方が集中豪雨に見舞われ、ハンガン(漢江)が氾濫してソウル一帯が水に浸かるなど史上空前の被害を出しました。現在、ロッテワールドやオリンピック競技場などがある、カンナム(江南)地域でも人家が流失したのをはじめ、多くの人が犠牲になり、ひとつの村が根こそぎ流されてしまうという惨状を呈しました。家を流された多くの日本人は他の地域への移住を余儀なくされましたが、二度とこのような災害が起こらないことを祈り、同時に後世の人に災害の恐ろしさを警告するため、以前住んでいた地域に記念碑を建てました。これが、「乙丑年大洪水記念碑」です。碑の正面には「乙丑七月十八日 大洪水記念」裏面には「増水四十八尺、流失二七三戸」とあり、また、側面に刻まれた文字から、この碑が大正十五年六月に建立されたことがわかります。因みに高さを測ってみると、140cm でした。今や高層アパートの林立する新市街地の道路脇にひっそりと立つ、この碑は、人間の営みをどんな眼で見つめているのでしょうか。



乙丑年大洪水記念

注) 大正や明治には「記念」ではなく「紀念」の文字がよく使われていたようです。

<IBC News>

韓国 I B C 訪問報告

工藤 義正

チェジュ島とソウル(2)

10月7日～10日、岩田メン、奥田メン、小森メンと共にIBCのチェジュ 三多(サムダ)クラブ訪問のため韓国のチェジュ(済州)島とソウルを訪ねた。(以下、後半分)

チェジュ三多クラブの文さんと別れ、10月8日夕刻、ソウル金浦空港へ到着、別便で移動の岩田さんと合流、夕方の交通ラッシュを避け、地下鉄を乗り継いで、ソウルYMCA会館の中にある韓国のワイズ事務所に向かった。小一時間近く掛かって新しい所長のチョン氏が待つ事務所に着き、表敬訪問を果たした。奥田さん小森さん私も初対面であり、終業時間もとっくに過ぎているのにこやかに迎えてくださった。世界中どこでもワイズの仲間として繋がっていることを実感する瞬間である。ソウルの地下鉄はとにかく安い、ほとんどの駅へは約75円で行け、金浦空港でも約97円でOK。切符はデポジットのカードを返脚すれば半分返金される。

9日(土)は昼に日本YMCAソウル事務所を訪ねた後、竜山洞にある戦争記念館へ行った。朝鮮戦争に関する展示があり、屋外には多数の航空機や兵器が並んでいる。私は1950年6月生まれだが、朝鮮戦争はその3ヵ月後の9月25日に始まり、3日間でソウルが陥落した。その後、連合国・中国も加わり3年間内戦が続き停戦に至ったことは歴史で知っていたが、この記念館へ来てあらためて朝鮮戦争の悲惨さと南北問題の難しさを知った。夕刻、バスに乗って岩田さんが留学していた名門高麗大学へ行った。格調あるキャンパスの見学もそこそこに、学生街雑貨スーパーで人参入りの石鹸を買うのも目的の一つ。

最終日の10日(日)は李王朝の王宮であった景福宮へ寄ってそのあと、参鶏湯(サムゲタン)が美味しいといわれるお店で昼食をというつもりで行ってみれば、ものすごい長蛇の列。後の予定もあるのであきらめて別の店へ。昨年に続き、岩田さんのお陰で、本当に信じられない費用で宿泊も含め、美味しい食事と旅ができた。何より近くて遠い国の理解が少し深まったことが今回の一番の収穫でした。



日本YMCAソウル事務所にてスタッフのユンさん、チョウさんと大阪YMCA(国際専門学校)片岡さんと一緒に。

イブニングロビーコンサートをサポート

工藤 義正

10月29日夜、土佐堀YMCAイブニングロビーコンサートがYMCA会館1階ロビーで開催され、近隣の方々など80名の参加があり、6人のすばらしい生演奏を楽しんでいただきました。佐野多由子さんプロデュースで「6人のミュージシャンによるそれぞれの秋」と題するピアノ、バイオリン、フルート、ミュージカルソー、アコーディオン、篠笛、尺八、ソプラノ、サクソなど色んな楽器でさまざまなジャンルの音楽を楽しみトークと共に楽しんでいただきました。土佐堀クラブは今回、土佐堀Yのロビーコンサート実行委員会を全面的にサポートしました。開催運営費用のうち4万円を資金協力。またドリンクブースをメンバーが担当し、ビールやワイン、梅酒、ソフトドリンクなどを販売し、コンサートの楽しい雰囲気作りに協力することができました。当日の運営にサポートいただいた方に感謝申し上げます。参加者は生地、岩田、奥田、工藤、小森、只野、永井、西田、牧口の各メンと北村、西田、牧口各メネットの12名でした。

とさぼりカーニバル2010 報告

生地 義治会長

11月3日に10回目の「とさぼりカーニバル」が開催されました。晴天に恵まれ入場者数は1,071名となり賑やかなカーニバルとなりました。土佐堀クラブは今年も乾物と果物を販売し10,530円の収益を寄付することができました。リユース食器係にも協力しました。参加者は生地、岩田、奥田、北村、工藤、小森、小路、只野、牧口の各メンと只野コメント、奥田、牧口各メネットの12名でした。

第16回大阪YMCAチャリティーラン開催

只野 準一

11月23日の勤労感謝の日、大阪城公園において、毎年恒例の「大阪YMCAチャリティーラン」が開催されました。今年は順位制16チーム、宣言タイム制30チーム、オープン制7チームの計53チームがエントリー。前夜からの雨もあがり、少し肌寒い風が吹く中、青屋門近くの広場にランナーたちが集合しました。土佐堀クラブからは自前のチームこそ出さないものの、毎年50,000円を複数のチームにわけて支援しています。今年はIHS ショージズ・エンジェルチームを支援しました。また、土佐堀クラブの当日の役割は抽選券の賞品渡りで、閉会宣言と同時に怒涛のような引換券の嵐にひたすら耐えながら無事に賞品を渡し終えたのでした。長年いっしょにやらせていただいているなかのしまクラブとのチームワークもバッチリで、要領のいいことこの上ありません。毎年チャリティーランの一番最後に汗を流すなかのしまクラブと土佐堀クラブなのでした。参加者は生地、岩田、奥田、北村、工藤、小森、小路、福永、道関、只野の各メンの10名です。多くの働きに感謝！

YMCAニュース

■とさぼりクリスマスの集い

2010年12月11日(土)

I部 礼拝 15:00~15:40 (日本キリスト教団大阪教会)

II部 祝会 16:00~17:30 (大阪YMCA会館2階ホール)

*マイカップをご持参ください。

■第212回大阪YMCA早天祈祷会

日時:12月17日(金)7:30~8:30

会場:大阪YMCA会館10Fチャペル

証し:平井文則牧師(日本キリスト教団阿倍野教会)

■クリスマス献金のお願い

クリスマス献金の趣旨をご理解いただき、ぜひ多くのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

土佐堀YMCA運営委員会クリスマス献金実行委員長 丹吾 礼

■カーニバル、チャリティーラン協賛金のお礼

多大なご支援・ご協力をいただき心から感謝いたします。

連絡主事 小路 清一

▽12月の予定

7日(火)60周年記念例会実行委員会(18:30~)	奥田事務所
11日(土)クラブ例会(14:00~)	土佐堀YMCA
14日(火)第二例会・役員会(18:30~)	奥田事務所
14日(火)ブリテン委員会(19:30~)	奥田事務所

▽1月の予定

11日(火)60周年記念例会実行委員会(18:30~)	奥田事務所
15日(土)中西部合同新年会(15:30~)	アソエル・マリージュ
18日(火)クラブ新年例会(18:30~)	ラウンジ「翔」
25日(火)第二例会・役員会(18:30~)	奥田事務所
25日(火)ブリテン委員会(19:30~)	奥田事務所

▽12月の誕生日おめでとう

2日 北村 京子	9日 道関 あゆ子
11日 坂本 松男	18日 生地 絹江
19日 西田 京子	

▽12月の結婚記念日おめでとう

7日 鯉田 勝紀・由紀子

<今月の題字写真> クリスマスツリー クリスマスカードが届くこの季節。今年から大分白杵に赴任された澁谷メンからもメッセージが届く。主の降誕を祝うとともに、遠方の友へも想いを巡らせる夜。平和でありますように。(Y)

11月例会出席者数

メンバー	16名
メネット	3名
コメント	0名
ビジター	2名
ゲスト	1名
出席者合計	22名

11月例会出席率

会員例会出席者	16名
メーキャップ	1名
合計	17名
現会員数	22名
出席率対象数	21名
出席率	81.0%

B	F
切手	0 pt
現金	0 pt
今期累計	0 pt

ニコニコ

11月分	9,250円
今期累計	33,377円

TOS ファンド

11月分	0円
今期累計	0円
残高合計	1,311,060円
60周年ファンド	
11月分	3,500円
合計	169,054円